競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則、国内広告規程、および大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場の受付および入場について
①本大会参加者の正面玄関からの入場時刻、受付開始は9時50分とする。
②競技者受付は、ヤンマースタジアム長居正面玄関内エントランスホールにて行う。
③ヤンマースタジアム長居の入場は正面玄関および正面スタンド入口とする。入場・移動の際は、発行された ＡＤ カードを携行すること。選手には≪選手≫ＡＤをそれぞれ配布する。

3. ADコントロールについて
①本大会はＡＤコントロールを実施する。ＡＤカードは受付時に交付する。
☆ＡＤの種別および配布枚数について
・≪選手≫ＡＤ　→　競技者1名につき1枚とする。
・≪チームスタッフ≫ＡＤ　→　競技者1名につき2枚、2～3名は3枚、4名以上は5枚とする。

②AD着用者の入場可能エリアについて
☆≪選手≫ＡＤ着用者　→　招集所、更衣室への動線、サブトラック
☆≪チームスタッフ≫　→　サブトラック
※チームスタッフADでは、正面玄関内の競技者受付から先、およびＴＩＣから先に入場することはできない。

4. 更衣について
①ヤンマースタジアム長居に更衣室を用意する。
②更衣室は更衣のみに使用し、待機場所としての利用はしないこと。

5. 練習について
12月5日(土)：14時00分～17時00分までヤンマーフィールドを利用することができる。
12月6日(日)：10時00分～17時45分までヤンマーフィールドを利用することができる。

6. 招集について
①アスリートビブスは配付されたものを使用すること。
②招集所はマラソンゲート内とする。
招集所へは正面玄関から入場すること。
③招集開始時刻及び招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、以下のとおりとする。
招集開始時刻／各レーススタート25分前　　招集完了時刻／各レーススタート15分前
④招集完了時刻に遅れた競技者は欠場するものとして処理する。
⑤競技者は、招集所にてアスリートビブス、競技用靴のスパイクピンや競技場内で着用するウェアほか持込みバック類の商標のチェックを受け、招集完了時刻に競技役員の指示により移動する。
⑥腰ナンバー標識については右腰に貼り付けること。
⑦スタート前に脱衣した競技者の衣類をPECR へ運搬する為、招集後に配布される袋に、自身のアスリートビブス番号のシール（受付時に配布）を貼り付け、衣類を入れること。
⑧携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他の類似の機器については、他者との通信が使用不可能なものに限って使用を認める(TR6.4.4)。
⑨代理での招集は認めない。
⑩欠場届の提出は、以下の要領にて行う。
大会前日まで　→　メールにて提出する。　提出先・・・　jitatf.info@gmail.com
大会当日　　→　招集開始2時間前までに所定の「欠場届」をＴＩＣに提出すること。
ＴＩＣ・・・マラソンゲート内に設置する。

7. 競技について
①競技用靴については TR5.2 および競技用靴に関する規程を適用する。
②競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人がなお競技続行の意思を示していても、審判長（または権限を委譲された審判員）から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。

8. 抗議について
競技の結果発表は大型スクリーン及びアナウンスにて行う。
競技の結果または競技についての抗議は、ＴＩＣで受け付ける。

9. 個人情報の取り扱い
①主催者及び共催者は、個人情報の保護に関すある法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記者発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
②本大会はインターネットで動画配信を行う。
③大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者及び主催者、共催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

10. ドーピングコントロール
本競技会は、ワールドアスレティックス(WA)　アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会（時）ドーピング検査対象大会である。
詳細は大会要項別紙＜ドーピングコントロールについて＞を確認すること。

11. その他
①応急処置その他健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡して医務室で処置を受けることができる。
②大会期間中の貴重品の保管は、各自で行うこと。盗難等の被害に対し主催者はその責任を負わない。
③大会関係者が撮影した写真・ビデオは、主催者の一般社団法人日本実業団陸上競技連合に使用権限があり、ＳＮＳなど情報発信に使用する場合がある。
④選手はレース終了後、ミックスゾーンを通過し、PECRで荷物を受け取ってから競技場外に出ること。ミックスゾーンで取材の依頼があった場合は、対応をすること。
⑤**各種目Ａ組の日本人最上位選手**は、ゴール後にライブ配信のインタビューに対応すること。
ライブ配信のインタビュー対応後は、④に記載の順序で場外に出ること。
なお、日本記録等のフォトセッションが行われた場合は、その後にインタビュー対応を行う。
⑥ごみはすべて持ち帰ること。

＜競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について＞

「競技会における広告および展示物に関する規程」により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記のようになっている。事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。
日本陸連「ユニフォーム広告規定」リンク先　→　https://www.jaaf.or.jp/news/article/14995